学校番号	２０６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	地理探究（山川出版社）　詳解現代地図 最新版（二宮書店）						
副教材等	ﾌｫﾄｸﾞﾗﾌｨｱ地理図説（とうほう）　チェック＆演習地理（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体性を持ち、国際社会における多様な価値観や文化を認め、平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質能力を育成する。
・上記能力の育成のため課題や疑問に対して、自ら考え、ペアもしくはグループで意見を交わしたり、発表したりする活動を行う。能動的に授業に参加する意識が大切。
・問題集は授業でも使用するが、自力で解いたり、繰り返し行ったりして学習内容の定着を図ることが求められる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地理的な基本概念、用語、統計や地図の読み取りが正確にできる。
地域や世界に関する情報を整理し、分析する技能が身についている。
【思考力、判断力、表現力等】
地理的な課題を多角的に考察し、根拠に基づく判断ができる。
データや図表を用いて論理的かつ説得力のある表現が可能である。
【学びに向かう力、人間性等】
地域や地球規模の課題に関心を持ち、自ら課題を設定できる。
探究活動を通じて、適切な計画を立て、粘り強く取り組む姿勢が見られる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代世界の系統地理的考察	自然環境 資源と産業 人・モノ・金のつながり 人口，村落・都市 日本の領域・領土 日本の領土問題 世界の領土・民族問題 文化と国家	a: 系統地理に関わる諸事象の規則性や傾向性、日本の領域・領土、日本の領土問題や世界の領土問題などについて、その現状や要因、解決に向けた取組を理解する。 b: 系統地理に関わる諸事象について、空間的な規則性や傾向性に着目するとともに、日本の領土問題や世界の領土問題などの地球的課題について、その要因や動向、課題の解決に向けた取組を多面的・多角的に考察し、表現する。 c: 系統地理に関わる諸事象や、日本の領域・領土、日本の領土問題や世界の領土問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題や課題解決に向けた取組を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク ノート	ワーク ノート パフォーマンス課題

2学期	現代世界の地誌的考察	現代世界の地域区分 中国 朝鮮半島 東南アジア 南アジア 西アジア・中央アジア 北アフリカ サブサハラアフリカ ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オーストラリア ニュージーランドと島嶼国	a：諸地域の歴史的背景や民族，自然，産業，地域間連携について，多彩な文化と関連づけながらその特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b：諸地域の歴史的背景や民族，自然，産業，地域間連携について，多彩な文化と関連づけながら考察することができる。 地図や統計を活用し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c：諸地域の自然，資源，産業について，日本との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。 諸地域の民族問題や居住・都市問題への課題意識を高め，その背景と現状や対策について意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワーク ノート	ワーク ノート パフォーマンス課題

3学期	現代世界におけるこれからの日本の国土像	現代日本に求められる国土像 ①自然災害に強い国土をめざすには ②産業の変化と持続可能な成長 ③人口減少社会を活性化するには ④多文化共生社会の実現をめざして	a: 自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，現代世界における日本の国土の特色や諸課題について，個人や国，国際社会などからの多角的で客観的な視点を身につけることができる。 b: 自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，日本の国土や社会・経済の特色について，これまでの地図・系統的・地誌的学習をふまえ様々な視点から客観的に考察し，その過程や結果について適切に表現することができる。日本がかかえる地理的な諸課題の形成要因について考察し，その過程や結果，今後の改善策について適切に表現することができる。 c: 自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，日本の国土や社会・経済の特色や諸課題について関心を高め，その解決の方向性や将来の国土のあり方について意欲的に追究しようとしている。「エネルギーの安定供給をめざして」の事例において，日本がかかえる地理的な諸課題に対する課題意識を高め，意欲的に探究しようとしている。 さまざまな視点から多面的・多角的に分析・考察し，仮説の検討を進めることにより，将来の国土像について積極的に展望しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークノート	ワークノート パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度